

◆議事概要

平成 27 年度 中城湾港泡瀬地区環境保全・創造検討委員会 第 1 回 人工島環境整備専門部会 議事概要

日時：平成 27 年 11 月 9 日（月）14:00～16:00
場所：サンパレス球陽館
出席：全委員出席

【総括】

「野鳥園及び人工海浜（生物・学習エリア）に関する基本計画（案）」および「維持管理・運営に係る提言」については、承認された。以下のコメントがあった。

【資料 1 平成 26 年度専門部会等における主な意見等とその対応について】

1 フィールドミュージアムについて

- 泡瀬干潟を含め、一体的に本施設を活かしていくとよい。整備が進めば教育の場になる。泡瀬の観光に寄与するような施設になると、教育と観光につながる。
- 周辺地域を含めた調査データが蓄積されているので、それを上手く活用できれば自然体験型観光にもリンクするのではないか。
- 引き続き、検討する。

【資料 3、4 基本計画の策定（場の配置計画、動線計画）】

特にコメントはなかった。

【資料 5、6 基本計画の策定（施設計画、植栽計画）】

2 客土について

- 植栽用地の土壌は何か。埋立地の海岸という植物にとって厳しい環境であるため、客土は必要と考える。「必要に応じて」との記載があるが、どのように判断するのか。
- 埋立土は中城湾港新港地区の浚渫土砂で、基本的にサンゴ礫とクチャ等の混ざった土である。基本的に植栽個所は客土等することを考えている。

3 観察壁・観察小屋について

- 淡水池の海側は、鳥の出入りがあると想定されるので、植栽にするか、観察壁も 2 か所程度にする等の工夫が必要だと思うので、実施設計で検討してほしい。また、海側はできるだけ、観察壁は少ない方がよい。
- 資料に図示してあるのは、観察壁の設置範囲である。先進地の事例では、2～3mの壁を数か所に設置していた。設計にて検討する。

4 土壁について

- カワセミ営巣用の土壁の設置する位置はどこか。また、淡水池の中に設置する止まり木の位置や池の深さ等について、専門家とよく相談して決めること。
- 臨港道路と淡水池の間を想定しています。具体的な設置場所や止まり木等については、設計において、再度、専門家と調整する。

5 淡水池の餌資源について

- カワセミがくるためには、餌資源（小魚、昆虫）や水質の課題がある。魚類の導入も検討してほしい。導入を検討する場合は、種の保存の観点より在来の魚類を検討してほしい。
- 整備時の導入は考えていないが、淡水池の生物相の状況をみながら検討する。

6 環境学習のパネルについて

- 看板の説明イメージは全て屋外の生物を説明するためのものである。展示パネルの内容も記載すること。
- 展示内容として植物の生活史（例：ツキイグ 種子散布）等載せたり、実物を展示するのもよい。
- 展示内容、構成については設計にて検討する。

7 植栽の経過イメージについて

- 植栽後、時間経過に伴う最終イメージがないと、具体的に計画が進まないのではないか。例えば、5年後、10年後を目途に計画するなどとしてはどうか。
- 植栽した樹木が、何年後にどのくらいになるかということイメージしておかないと、環境学習センターができた時に、木が育っていない、鳥がこないということにならないようにしてほしい。
- 検討して、各委員に報告する。
- 報告内容：資料 6 植栽計画の「6.1 植栽に当たっての留意点について」に「植栽後、10 年程度で（中城湾港新港地区のような）海岸林が形成され、野鳥が利用することを想定し、設計する。」を加える。

【資料 7 維持管理・運営に係る提言】

8 外来種対策について

- 淡水池をつくると、外来種を放逐される可能性があるため、初めから、例えば、在来種の研究施設であるなどの看板を設置する必要がある。
- 資料 5 の施設計画中の注意看板に加える。

【その他】

9 管理者について

- 野鳥園に管理責任者をおくか。
- 管理者はおくことになっているが、管理主体については検討中である。

10 人工島全体の植栽について

- 環境学習センターでは、野鳥・干潟の体験学習を想定しているが、野鳥園だけでは、規模が小さいため、人工島全体の植栽も同様に検討してほしい。
- 強制はできないので、あくまでお願いベースで企業に働きかけることを検討する。（平成 26 年度第 1 回人工島専門部会時に回答）

11 モニタリングについて

- 生き物と植栽の関係は、調査しないといけない。今後、植栽をしていくときに、将来に活用できるデータをとってもらいたい。
- 詳細なデータをとるために、季節ごとに 4 回/年、モニタリングを続けてほしい。淡水池の塩分濃度がどのように変化して、植物が入ってくるか、またどのように変遷していくのかというデータをとってほしい。
- 検討する。

12 地域との係わりについて

- このようなすばらしい施設が地域にできるのであれば喜ばしい。地元として係わっていきたいと考えている（例えば、学校への働きかけ等による清掃活動など）。